

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	三重西濃	東京西濃	西濃通運	昭和冷蔵	エコアライアンス
現状 (状況及び、課題)	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラレコのSDカードに保存された1日の映像から危険箇所を抜き出すため、確認作業に時間を要し、結果ドラレコの映像データを教育に日常的に活用できていない ・有事の際の状況把握に乗務員の帰社まで時間を要する 	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流不動産での倉庫問い合わせにおいて、一部アナログな運用が残っており効率を向上させる余地がある 	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出退勤の時間管理を職種毎に複数利用(デジタコ、点呼簿、端末入力)している 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 94.5% ※12月伝票データ実績件数より <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口の新規業務において非EDI対応が多い 	<p>【IT推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時作業が可能なクラウドを導入し運用中 →運用状況は作業全体の30% ・クラウドの運用による従来ソフトとの互換性の問題
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラレコをSDカードから「クラウド型」に変更し、管理システムを変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫情報管理サイト『sokkconnect』(ソーコネクト)を開発。12月1日にリリース 	<ul style="list-style-type: none"> ・デンソーの出退勤システムを利用することにより、スマホまたは、PCで出退勤を入力して管理する 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規案件渉外の際、EDI化の事前確認を必須確認項目とした 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド専用の様式を作成し運用を検討 →数式を使用する各帳票類の作成
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・動画抽出における作業負担及び容量負担の軽減 ・事故、異常発生時のより素早い対応が可能となった 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイトを介して人を介さず問い合わせが入ってくるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・CSVデータで管理することで、手入力作業が減り、素早く把握できるようになった(現在、昼勤現業のみで運用、全従業員に拡大予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標とした2社のうち1社を達成 →残った1社については渉外を継続していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定事項報告にて2/1を目標に新様式の運用を行う
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント検知システムで管理者の確認ポイントを自動で動画取得し、ピックアップすることが可能 ・車両状況をリアルタイムで確認出来るため、事務所からドライバーへの運転中の着信を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介するサービスサイトが出来た事で営業も提案しやすくなり、活動範囲も広がっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗務員はスマホにアプリを入れることで、出先でも出退勤、休憩時間を入力することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・EDI化によるメリットをお客様にご理解いただける様に渉外を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・重複作業によるデータの上書きによって発生する更新ミスをなくす ・データ保存の一元管理